

株式会社まちリズム 事業計画サマリー

人の活動の約9割は屋内ですが、屋内にはGPSが届きません。当社は建物の中で「何階のどこに何人いるか」を測り、混雑を予測して、ナッジ（行動経済学）で人の流れを分散させます。

1. 解決する課題

観光地の混雑 人気の場所に観光客が集中し、住民の生活にも影響が出ている。	避難所の過密 滞在人数をすぐに把握できず、物資の配分や受け入れに偏りが出る。	商業施設・空港の人手不足 階ごとの混雑を予測できず、警備員の配置や誘導が後手に回る。
--	--	--

2. 技術と実績 埼玉大学 間邊研究室の研究成果

技術	内容	実績・進捗
屋内2.5次元測位	Wi-Fi・BLEビーコン・AIカメラ・LiDARを組み合わせ、平面の位置と階（高さの誤差3m以内）を特定する。	中部国際空港（セントレア）で実証済み
ナッジで混雑を分散	リアルタイムの人流から混雑のピークを予測し、別ルート・別の階・他の施設へ誘導する。	NEDO若手研究者発掘支援事業（若サポ）で共同研究中
穴場スポットの発掘	歩きやすさと個人の好みから、有名ではない場所を案内し、人の集中をならす。	さいたま市・酒田市・ブログウォッチャー等と実証を協議中

3. 顧客と収益モデル

顧客：自治体（観光課・防災安全課）、民間企業（観光・旅行、交通・空港、警備）

料金：初期導入・実証1エリア50万～300万円＋混雑予測APIの月額利用料10万～50万円

特徴：市販のセンサやスマホを使い、自社で機器を製造しない。粗利率約80%

アプローチ中：さいたま市、酒田市、埼玉県観光課、リクルート、川崎重工業、ブログウォッチャー、シンティ警備

4. 会社概要

社名	株式会社まちリズム（Machirhythm Inc.）
本店	さいたま市桜区下大久保255（埼玉大学内）を予定 ※設立当初はCTOの自宅で登記し、埼玉大学発ベンチャー認定取得後に学内へ移転登記予定
設立	2026年秋～2027年1月（予定）
資本金	100万～300万円（全額自己資金）
役員	取締役 CTO 間邊 哲也（埼玉大学 准教授） 代表取締役 CEO 倉本 圭太

5. 収支計画と資金計画 単位：万円

	第1期	第2期	第3期
売上高	750	3,500	9,400
売上原価	150	700	1,880
販売管理費	400	1,600	3,720
営業利益	200	1,200	3,800
主な取り組み	自治体・大手企業と実証（3～4件）	API本契約、空港・商業施設へ拡大	観光自治体・防災分野で全国展開

資金計画：自己資金 約300万円に加え、特定創業支援等事業の証明書を取得のうえ、日本政策金融公庫の創業融資（新規開業・スタートアップ支援資金）500万～1,000万円を申請する予定。

6. 支援を受けたいこと

内容	財務・公庫融資について
時期	今後